

ウ 丹那小学校区高校生の函南中学校スクールバス利用について

【事業検討の経緯】

1 函南町地域公共交通網形成計画における事業の位置づけ

基本方針

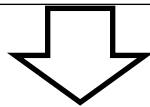
I 既存のニーズと交通機関を活かした基幹交通の再編



今後の取組：施策事業

「既存の交通機関の有効活用」

送迎バス・スクールバスの有効活用・相互利用



事業内容

送迎バス・スクールバスについては、利用者の意向を把握し、目的外利用や自主運行バスを含めたバス路線の再編を図ります。

2 検討の経緯

【前提条件】

函南中学校スクールバスは、丹那小学校区から函南中学校に通学する生徒のための通学手段であり、この大前提は今後も変更しない。

（混乗化をした場合に生徒が乗り切れない事態は避けなければならない。）

【利用者の意向を把握】

現在（令和4年度）利用中の保護者に向けてアンケートを実施し、混乗化に対する意見、意向を確認。

保護者アンケートについて

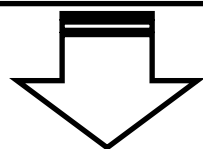
令和4年度に教育委員会が実施したスクールバス混乗化に関する利用者の保護者アンケートの結果より

【住民が乗車することへの不安】

- 生徒以外が乗車することへの安全面での不安（安全が保障できるのか）
- 生徒のみが乗車するスクールバスとしての運用継続希望 等

【中学生（利用者の）意見】

- 中学校までで義務教育は終わるが、ほとんどの生徒は高校に通学する。スクールバスを利用したい。
- 自転車を通うのは体力的にも困難。
- 高校生はお互いに顔見知りなので安心できる。 等



庁内における協議・検討
【教育委員会と総務課（公共交通担当）】

事業の方向性について

- 今年度は期間限定の試行事業として検討を進める
- 運行ダイヤ・経路は変更しない
- 丹那地区在住の高校生の乗車を認める
- 利用は登録制（許可証の発行）とする
- 実施時期は11月頃から

今後の事業検討フロー

7月31日	函南町地域公共交通会議
8月～9月	・利用者（中学生）の保護者向け説明会の実施 ・運行事業者（伊豆箱根バス）との調整
9月～10月	・対象の高校生向けの案内（書面） ・利用登録、許可証の交付
11月～3月	・事業試行 ・利用状況の把握